

ミニデイだより

音楽はいい

久しぶりの楽器演奏にも関わらず、もう皆さんは身体が覚えていて実に見ごとに各々の楽器を奏でられます。

音楽を聞いただけで体が動きだします、各自担当の楽器を奏ではじめます。「双頭の鷲の旗の下で」などを大太鼓、シンバル、スティック、タンバリンなどの楽器を使い演奏している姿は年齢など感じさせない力強さがあり聴いている人に感動を与えます。

また、各自の課題曲があり、その練習にもみなさん力を入れています。ミニデイの時間ばかりでなく各自、家に帰られてからも、みなさんが頑張って練習されている様です。「窓を開けて練習していたら、となりの人からいい曲だねー」と言われたと、とても嬉しそうに話されていました。

まごころでキーボードを習われたIさんも「家で練習すると、主人も一緒に練習するんです」と。音楽は家の中をも和やかにします。みなさん頑張ってください。

4月の予定

- 4月の予定
- 1日(金) 会報「まごころ」発行
 - 3日(日) 定例会
勉強会：形態介護技術
 - 4日(月) ふれあい広場開設
 - 5日(火) ミニデイサービス・定例会
NPO市民協愛知幹事会
 - 7日(木) サービス提供責任者会議
 - 12日(火) ミニデイサービス
 - 14日(木) サービス提供責任者会議
 - 16日(土) YOU愛10周年で訪問
 - 18日(月) 理事会
 - 19日(火) ミニデイサービス
 - 21日(木) 一宮市事業者連絡会
サービス提供責任者会議
 - 22日(金) 児童デイ事務局会議
 - 26日(火) ミニデイサービス
 - 28日(木) ミニデイサービス (保育園)
サービス提供責任者会議

ふれあい広場の予定

- ふれあい広場 (4月は変則)
- * 支援費児童デイサービス
毎週 月、水、木、金 15時～19時
毎週 土 10時～17時
 - * 太極拳 毎週 火 16時～17時
 - * 中高年のピアノ教室 第2、4月曜 9時～12時
 - * 中高年の体操教室 第1、3月曜 10時～12時
 - * ふれあい広場でお茶 毎週 木曜 10時～12時

指定居宅支援事業者等集団指導に参加して

3月25日伏見ライフプラザにおいて指定居宅支援事業者等集団指導が実施されました。

例年のように施行状況の説明では下表のように県内の障害者(児)の登録及び利用状況の説明がありました。

これによれば、この2年間で登録障害児童の登録数が1.9倍、同居宅介護利用が2.9倍、同デイサービス利用が2.7倍になっております。児童居宅介護事業所数が2.1倍、児童デイサービス事業所数が2.0倍に増加していますが需要に追いついていない状況です。

平成17年度における支援費基準の見直しについては長時間加算単価の激変緩和措置の廃止による単価見直しと行動援護サービスの新設が予定されています。

居宅生活支援費 (平成17年2月1日現在)

		実人員		居宅介護利用率		サービス利用率		短期入所利用率	
		(A)	(B)	(B/A)	(C)	(C/A)	(D)	(D/A)	
身体障害者	H15. 4. 1	3863	2453	63%	1734	45%	883	23%	
	H17. 2. 1	5377	3789	70%	2041	38%	1402	26%	
増加人数		1514	1336		307		519		
増加率		139%	154%		118%		159%		
知的障害者	H15. 4. 1	4380	2052	47%	455	10%	3308	76%	
	H17. 2. 1	6731	4262	63%	1118	17%	5040	75%	
増加人数		2351	2210		663		1732		
増加率		154%	208%		246%		152%		
児童	H15. 4. 1	2542	1222	48%	600	24%	2115	83%	
	H17. 2. 1	4987	3541	71%	1646	33%	3755	75%	
増加人数		2445	2319		1046		1640		
増加率		196%	290%		274%		178%		
合計	H15. 4. 1	10785	5727	53%	2789	26%	6306	58%	
	H17. 2. 1	17095	11592	68%	4805	28%	10197	60%	
増加人数		6310	5865		2016		3891		
増加率		159%	202%		172%		162%		

2月の介護保険活動

利用件数	56件
生活支援	519.5h
身体介護	669.5h
合計	1189h

2月の支援費活動

訪問件数	28件
身体介護	178h
家事援助	139h
移動介護	57.5h
合計	375h

2月児童デイ

児童デイ開所日	16日
のべ参加児童数	158人

2月の活動

有償活動件数	22件
有償活動人数	6人
ミニデイサービス利用者	84人
移動サービス利用件数	259件
ふれあい広場利用回数	16回
助け合い活動時間	579h
補助活動(精神障害者在宅)	12h



3月29日
ミニデイのお昼
おいしい田楽!

ある外科医の独り言

手術の基本

高 勝義

手術を行うということは、何か特別な難しい事、誰にも出来ないような特殊な事をやっていると思う人が多い。私もペーペーの頃、上の先生がやっている手術を見て感動し、その結果外科医になってしまったのである。

それから何年も外科医をしてくと、手術なんてものは、何も特別な特別なことをしているのではなく、切る、結ぶ、縫うという単純な動作を行っているに過ぎないと分かってきた。

メスは腕の良い板さんが肉や魚を切るように、体にスッと刃を当て、力を入れるでもなく抜くでもなく、引くでもなく押すでもないように切るのである。勿論メスがよく切れることが条件ではあるのだが、切つて良いところにメスの先が当たると、なんの抵抗もなく臓器が割れるように切れるのである。

さて次に、切ったところからは出血したり、内容物が洩れてくる。生きた人の体、出血したところは止血しなくてはならない。止血する手段は糸で縛ることが一番確実なことである。この糸が弛まないようにしっかりと結ばなくてはならない。糸を締めすぎれば切れてしまし、弛んでいては役に立たない。荷造りの人が実に上手に荷物のひもを結ぶのに似ているのである。荷物などは少しぐらい弛んでもさほど問題にはならないのだが、人の体で糸が弛んだり、ほどけてしまったりしたら大変である。出血したり、つないだ所が離れてしまい、手術が失敗したということになる。

切って止血した後、そのままには出来ない。切ったところを縫わないと大変である。切ったところ同士をつなぎ合わせるのに、洋服屋さんが縫うのと全く同じように、針と糸でもって臓器をつなぎ合わせるのである。下手な仕立屋さんが縫えば、着心地は悪く、長持ちしないと同じで、人の体も綺麗に正確に縫うことが良い結果をもたらす。強すぎず弱すぎず、同じピッチで規則正しく、誰が見ても綺麗だといわれるように縫った傷は治りがよい。

外科医はこの切る、結ぶ、縫うの三つを上手に使い分けなければならない。どれ一つが欠けても外科医としては失格である。手術はこの三つの基本技術に知識、判断力、人間性が加わって完成するものと思っている。

しかし、最近では色々な機械が開発され、この三つの基本技術があまりなくても手術が出来るようになってしまった。もう手術から遠ざかる年になった私としては、手術が誰でも出来るようになったことを喜ぶべきか、基本技術がなござりになることを悲しむべきか、複雑な心境である。

(山下病院 院長)

5月の定例会

- 5月8日(日)
定例会 9:30～10:30
介護技術勉強会 10:30～12:30

2月の会員登録

協力会員	56人
利用会員	95人
賛助会員	114人
合計	265人

お詫び
先月と訂正
食に訂正
合併前(月曜日)の
併用(土曜日)に
上げます。
合併後(月曜日)の
掲載に誤りがありました。

は見てください。結構、参考になるものがあると思います。先日、長年看護にかかわってこられたYさんが来所。これも、あれも、これも、このビデオも借りていきました。「えっ、皆さん借りられないの」「忘れていたことを思い出させてくれるよ、本は。」いつも初心に返り、自身にチェックが必要だと言われる。学びたい姿勢です。訪問先で自身の靴はきちんと揃っていますか。靴は汚れていませんか。靴の中が黒くなっていませんか。靴下が汚れていませんか。訪問看護を経験されておられる方の実感がこもったご注意でした。